



[日時]: 2023年10/08(日) 12:00 ~ 関西大学ラグビーBリーグ 神戸大対大阪国際大戦

[場所]: @四条畷総合運動公園 (人工芝) 雨天

[戦績&概要]: 40分ハーフ。14-36 (前半 14-19, 後半0-17)

		神戸大	大国大
前半	T	10	15
	G	4	4
	P	0	0
	DG	0	0
計		14	19
後半	T	0	15
	G	0	2
	P	0	0
	DG	0	0
計		0	17
合計		14	36

S(スクラム), M(モール), KO(キックオフ), TK(タッチキック), BD(ブレイクダウン), MB(マイボール), YB(ヤンボール), DT(ダイレクトタッチ), LO(ラインアウト), MBPK(マイボールハーフカルティキック), YBPK(ヤンボールハーフカルティキック), YBTK(ヤンボールタッチキック), MBTK(マイボールタッチキック), P(ハーフカルティキック), DO(ドロップアウト), TF(スローフォワード), TO(ターンオーバー), NS(ノットストレート)

- **総評:**
- 両校先発メンバーFW8人の体重差は▲28kg。平均体重差はわずか▲3.5kg。又、FW前5名の体重差は▲3kgと殆ど差が無いにも関わらず、セツスクラムは全て押された。これは神戸大S組み方が稚拙で、S個々人のパワーを集結出来ていないのが原因。レベルは違うがRWC2023でランキングで上位のイングランド、アルゼンチンとジャパオンが前半互角に戦えたのは、Sで善戦していたからに他ならない。セツSを対等に組めていれば、神戸大には十分勝機のある試合であった。幸い神戸大学は山内スクラムコーチと言う名伯楽を得た。ご指導をよく聞き、残るリーグ戦へのS力の向上を目指して欲しい。
 - BKのラインディフェンスはそこそこ機能していた。
 - LOMも機能し、前半の2トライはどちらもLO起点であった。→LO攻撃を磨く事。
 - 後半セツ封されたのは頂けない。数次連続MBBDが2度あるも、ガス欠からか決め手に欠き、結局TOされトライに繋がらず。突破力が欲しい。
 - ここぞと言う時のフックを無くす事。Sが弱いのに相手ボールSとなり、避けねばならない。
- (追補) 改めて、ラグビーは数学(確率論)と物理のゲーム。→ぶつかる時に相手を上回る力積 $FT = MV$ (質量×速度) を与えられると、相手に必ず当たり勝てる。→エリアを取り、攻撃権も保持出来る確率が高いのはどの高さで方向と距離のキックか?BDでゲイン出来る確率の高いアタックの方法は? 確率と力積を考えてプレーして欲しい。

10/08/23			
	神戸大	大国大	体重差
FW 3人	279kg	276kg	▲3kg
5人	446kg	449kg	▲3kg
8人	676kg	704kg	▲28kg
平均体重	84.5kg	88.0kg	▲3.5kg
最大体重	100 kg	93kg	
平均身長	172.1cm	175.1cm	▲2.0cm
最高身長	178 cm	180cm	

➤ **戦況:** 今回大国大戦の戦況は中本コーチのゲーム記録シートに譲ります。